

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム さくらそう
日付	平成18年2月25日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>敷地が広く、建物内もゆとりあるスペース作りがなされています。敷地内を散策するだけでもリハビリの効果があるようです。日当たりも良く建物内が非常に明るくて健康的でした。入居者の自主性を尊重し、入居者一人ひとりが自由に生活している姿を職員が見守りしています。</p> <p>外出には特に力を入れています。入居者は、近場はいろいろ出かけたため喜ばれないようなので、県外に行くこともあられるようです。家族と同伴のバス旅行をおこなって親睦も図っています。</p> <p>組織が新しくなったばかりですが、責任者は管理者などからの意見や要望を良く聞き、改善に協力的です。これからは楽しみです。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>・地域との交流が足りないようです。グループホームのことを理解してもらおう努力が必要でしょう。</p> <p>・組織が新しくなってまだ数ヶ月しか経っていないため、管理者と職員間の意識統一がまだまだ図れていません。責任者や管理者の意見が職員にも伝わるようにミーティングをしっかりと行い、理解を深めていくことで、介護の方向性が見え、より良いグループホームになると思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者の残存機能を生かし、その人の生活を豊かなものになるように支援することをめざしています。週4回、機能訓練士に来てもらい、入居者個々に合ったマッサージ、針、灸によるリハビリを行っています。また、車イスのまま入浴できるスロープ付きの浴槽を設け、機能の回復に努めています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者との会話を重要視しています。要望を聞いてやりたいことがあれば介助したり、見守りを重視することで、入居者が施設内で自由に暮らして頂いてもらうように取り組んでいます。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 畑の水やり、洗濯物を干すことや、片付け、食事の手伝いなど、個々に出来ることをお願いしています。入居者は職員が大勢いるときはあまり手伝ってくれませんが、人数が少なくなると忙しそうにしていると自主的に手伝ってくれています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	入居者の介護度が全般に高いため、要望などあまり出ていませんが、声掛けして要望を引き出すよう努力をしています。ベッドから落ち、骨を折った入居者がいました。原因を究明することで、ベッドから畳の間に変更しました。また、夜間のトイレ誘導にも気をつけています。職員の経験者が少ないので他のグループホームへ見学に行ったり、質の向上を図ろうとしています。		